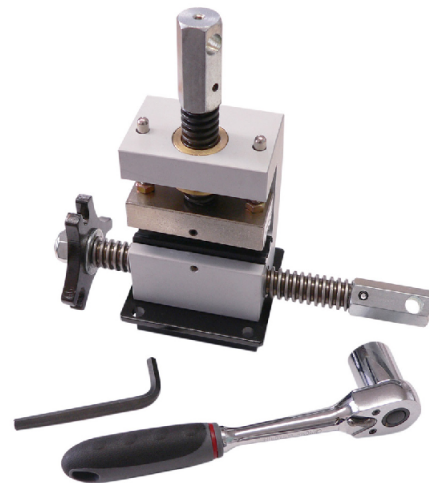


エコノミー ヘッド抜き工具 取扱説明書 (商品番号 : 5604-0031)

安全性・正確性に優れたプロフェッショナルシャフト抜き工具。
カーボンシャフトにも負担の掛からないラバークランプを採用。
レンチの捻りで圧力を調整でき安全に抜けます。

寸法 : 220W × 80D × 230H (mm)

対応チップ径 : 8.6 / 9.6 / 10.5 (mm)



同梱物

- (1) 本体・・・1台
- (2) ラチェット・レンチ・・・1本
- (3) 6角レンチ (台座着脱用)・・・1本
- (4) 台座 (本体装着済)・・・1個

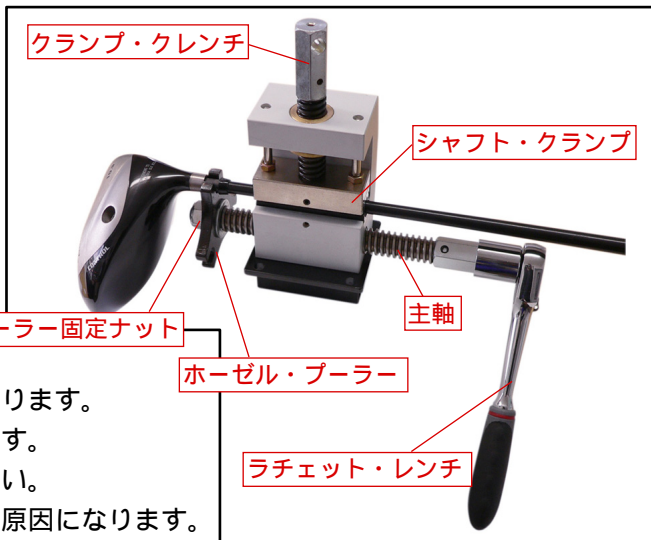
作業台等に固定する場合のボルト等は、別途、お買い求め下さい。

ご使用前の注意事項

- ・使用する前に、組み立てが十分か確認してください。確実に組み立てられていない場合、破損する恐れがあります。
- ・使用する際は必ず、本体を固定してください。
- ・使用する際、本体の下に身体の一部及び、壊れやすいものを置かないでください。
- ・付属の工具を使用する際、必要以上の力を加えると破損する恐れがありますので十分ご注意ください。
- ・本製品は使用時ヒートガンを併用しますので、手袋などを使用し、火傷には十分な対策をしてください。
- ・ヘッドの材質によっては、加熱によって変質する恐れがありますので、事前にメーカー等にご確認下さい。
- ・ラチェット・レンチで主軸を回す際に、ホーゼル・プーラーが共回りしないことを確認して下さい。共回りしてしまう場合は、ホーゼル・プーラー固定ナットをスパナ等 (恐れ入りますが別途ご用意下さい) で固定し、ラチェット・レンチで主軸を反時計回りに回してナットを緩めて下さい。共回りする状態で本器をヘッド抜きに使用されますと、シャフトの破損に繋がります。

ご使用方法

- (1) クラブのソケットを取り除きます。
(別売りのソケットカッター [KM204]、もしくはターボプライヤー [5605-0121] を使用すると便利です)
 - (2) 本体を作業台または万力に固定します。作業時、本品の手前及び左側には、障害物が無いように設置して下さい。
(万力で把持する場合は、付属の6角レンチで台座を外し、逆向き (平らな面が上方) に装着して、固定して下さい)
 - (3) ラチェット・レンチを使用し、ホーゼル・プーラーを左端から4~5cm程度、右方に移動させます。
 - (4) ホーゼル・プーラーのノッチから、シャフト径に適したものを選び、ノッチがホーゼルに接触する位置でシャフト・クランプにクラブのシャフト部をはめ込みます。(セット見本写真参照)
 - (5) 本体上部のクランプ・クレンチをラチェット・レンチで締め、クラブを固定します。
(シャフト破損につながりますので、締め過ぎにはご注意ください)
- <<上の作業が終了したら、いよいよシャフト抜きに取り掛かります>>
- (6) ヒートガン (別売り [商品番号 : 5605-0131]) でホーゼル部を温めます。
温める際は、必ずホーゼルから3~5センチ程離し、ホーゼル全体に満遍なく当たるようにして下さい。
(1箇所を温め続けると、ヘッドの変色やシャフト破損の恐れがあります)
 - (7) 温まってきたら、ホーゼル・プーラーをラチェット・レンチで押し出し、ヘッドを抜きます。**各部名称とセット見本**
抜けない場合は、(6)(7)の作業を繰り返して下さい。温めが不十分なまま押し出しますと、シャフト破損等につながります。
 - (8) ヘッド抜きが終了したら、接着剤が温まっている間に、ホーゼル穴 (ヘッドを再利用する場合のみ) とシャフト接着面 (シャフトを再利用する場合のみ) に残った古い接着剤をヤスリやワイヤーブラシ等で除去し、有機溶剤等で脱脂を施して下さい。
- <<以上で、作業終了です>>



使用上のご注意

1. ヒートガン使用時は、手を近づけないでください。火傷の原因になります。
2. 機械の間に手や指などを挟まないでください。けがの原因になります。
3. ぐらついた台や傾いた所など、不安定な場所には置かないでください。
4. クランプボルトはあまり強く締めすぎますと、シャフトを破損する原因になります。